

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

平成29年7月3日

三田市議会議員 平野 菅子 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	檜 田 充	印
		議員名		
派遣者氏名				
視 察 先	〒955-8686 新潟県三条市旭町2-3-1 三条市役所 〒954-8686 新潟県見附市昭和町2-1-1 見附市役所 〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1-2-5 糸魚川市役所			
調査事項 (調査目的)	三条市：マイナンバーカードによる独自サービスについて 見附市：教育委員会に子育て関連業務を一元化について 糸魚川市：糸魚川市子ども一貫教育方針の基本理念について			
日 時	平成29年6月28日(水曜日)～平成29年6月30日(金曜日)			
視察先対応者	三条市：駒形一興 議会事務局長、目黒正人 議会事務局主任 山澤浩幸 総務部情報管理課長 見附市：重信元子 総務文教常任委員会委員長 佐藤貴夫 議会事務局長、長谷川仁 教育部長兼こども課長 高橋英紀 課長補佐、矢澤明美 元気子育て係長、 榎本摂子 学校教育係長 糸魚川市：五十嵐健一郎議長、小竹和雄議会事務局長、山川係長 山本修 こども教育課課長、石川清春 参事・統括指導主事 山岸圭子 親子健康係係長			
添付資料	・三条市説明資料(写)(マイナンバーカードによる独自サービス他) ・見附市説明資料(写)(機構・組織図他) ・糸魚川市説明資料(写)(糸魚川市子ども一貫教育方針他) ・各市対応者名刺(写)・			

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	平成29年6月28日(水) 14時00分～16時00分
視察先	新潟県三条市旭町2-3-1:三条市役所
調査事項	マイナンバーカードによる独自サービスについて
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>目的:住民がICTの恩恵をいち早く受けられるために</p> <p>背景:平成16年7月13日の新潟福島豪雨</p> <p style="padding-left: 40px;">避難者名簿の作成にあたり住民が特定できない</p> <p>ICTの取組～知恵と工夫による「コスト」の削減と「独自」サービスの提供～</p> <p>《住基カード時の取組》</p> <p>新潟県内5自治体による住民情報系システムの共同化によるランニングコストの削減</p> <p>独自サービスの提供とカード交付手数料の無償化</p> <p>☞住基カードの交付率が全国平均の約3倍となる約14%</p> <p>《マイナンバーカードの取組》</p> <p>独自サービスの充実:選挙の投票所入場受付、避難所の入退所受付、窓口支援、コンビニ交付、図書の貸出受付☞「個人番号カードAP搭載システム」を利用</p> <p>普及への取組:写真撮影やカードの申請代行、各種イベント会場や自治会集会での受付</p> <p>普及させる理由:将来「マイナンバーカード」が認証基盤に☞恩恵をより多くの住民に、</p> <p style="padding-left: 40px;">いち早く受けていただくため</p> <p>【所見】住民の利益を第一として、マイナンバーカードの将来展望を示しながら、併せてマイナンバーカードを利用することによる、約300の窓口での申請書自動出力等のサービス充実普及に努められている。</p> <p>マイナンバーカードの普及は住民のみならず、コストの削減や業務の誤りの減にも結びついている。今後は中央でのさらなる活用が求められる。</p> <p>本市においても、さらなる普及に向けた取組が求められる。</p> <p>ICT化、そしてマイナンバーカードの普及が住民の利益に結びつくとの確信を持って取組まれている山澤課長の熱意に心打たれました。(29年間に渡り情報管理を担当されている)</p> <p><u>交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)</u></p>	

調査日時	平成29年6月29日(木) 10時00分～12時00分
視察先	新潟県見附市昭和町2-1-1:見附市役所
調査事項	教育委員会に子育て関連業務を一元化について
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>目的:「子育てするなら見附市」の実現</p> <p>乳幼児期から18歳までのこどもの人格形成をトータルで支援</p> <p>教育委員会にこども課を設置し、「総がかり」で総合的な教育力の向上を目指す</p> <p>・見附市の教育理念は</p> <p>ふるさと見附を愛する子どもの育成</p> <p>世に役立つことを喜びとする子どもの育成</p> <p>・こども課の目指すもの</p> <p>心身ともに健康なこどもの育成(相談支援の充実、親子保健の充実)</p> <p>こどもの人格形成をトータルで支援(保育・教育水準の向上、小学校への滑らかな接続)</p> <p>家庭の教育力向上、「共育」の推進</p> <p>子育て支援の充実</p> <p>【所見】</p> <p>市民の子育ての現状、行政の組織機構の状況からの課題解決を目指す中で、教育委員会に「こども課」を設置し、健康福祉課で担っていた、子育て支援や保育に関する事務を移管された。このことにより、「こども」に関わる一貫した施策を展開し、家庭・学校・地域の総合的な教育力の向上を目指されている。現状をしっかりと掌握し課題解決に向けて取組まれた成果である。市民にとっても、母子手帳の交付から子どもに関することは、教育委員会へ出向くことで用が足りることから利便性が向上している。</p> <p>また、人口減少への取組も進められ、人口減少率も県下で2番目に低い等の成果も出されている。また、給食費・医療費の補助や奨学金の返還免除の取組など全力で取り組まれていることがよくわかる説明をいただいた。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	平成29年6月30日(木) 10時00分～12時00分
視察先	新潟県糸魚川市一の宮1-2-5:糸魚川市役所
調査事項	糸魚川市子ども一貫教育方針の基本理念について
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>平成21年度「0歳から18歳までの子ども一貫教育方針」策定 0歳から18歳まで一貫した教育方針の下、市民総ぐるみで子育てを行う</p> <p>平成22年度から26年度までの成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携の推進</li> <li>◎早寝・早起き・おいしい朝ごはん運動が定着</li> <li>◎学校生活を楽しく送っている子どもが多い(学校に行くのが楽しいが全国平均を上回る)</li> <li>◎基礎学力の定着を目指し、学校、家庭が連携する必要がある</li> </ul> <p>平成27年度からは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎豊かな心の育成◎健やかな体の育成◎確かな学力の育成の3本の柱で進められている。</li> </ul> <p>【所見】</p> <p>家庭、地域、園・学校の役割を定めて取組まれている。また、3本の柱を支えるべく、親子保健計画が確実に進められている。とりわけ教育委員会こども課で進められた「生活リズム改善事業」では妊娠時から両親への指導を始め、電子メディア対策や早寝早起きおいしい朝ごはん運動の定着推進を図られている。そうした中では、こども課に配置されている保健師が大きな役割を果たしている。本市でも教育委員会への保健師への配置が望まれる。</p> <p>また、小中高合同の校長会や市長と高校学校長との教育懇談会の開催等で高校との連携も図られている。年に2回広く市民に呼び掛けて教育懇談会も開催されている。しっかりと市民・地域と園・学校が連携しながら子どもの健やかな成長を目指されていることが理解できた。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)